

## 十和田 → 女川 訪問記 ('11.09.15~09.18)

川田農場で栽培していた藤中さん用大根の収穫・梱包作業を手伝い、野菜を積んで、地震発生6ヶ月後の女川を伊藤さんと共に訪問しました。伊藤さんは川田農場が2回目・女川訪問は3回目で、私、石野にとっては、ともに初めての訪問でした。

### (1) 訪問者、訪問期間

- a. 訪問者 : TUWV 9期 伊藤、石野 (記)
- b. 訪問期間 : '11年 9月 15日~9月 18日

### (2) コース、ボランティア概要

- 9月15日(木) 神奈川 5:30発 → (約700km) → 15:45 十和田 : 川田農場 (泊)  
9月16日(金) 11:40発 → 16:20 女川第一小学校 (向学館) 16:55 → 17:05 運動公園 (泊)  
9月17日(土) 午前 : 仮設住宅で野菜配り、午後 : 保育園開園準備の為の遊具錆落とし (泊)  
9月18日(日) 藤中さん散歩コース散策 : 運動公園から女川の町の西側尾根筋、女川の町へ  
運動公園 6:40 → 9:25 運動公園 11:30 → 13:00 石巻 15:40 → 16:50 仙台 24:00 → 5:30 新宿

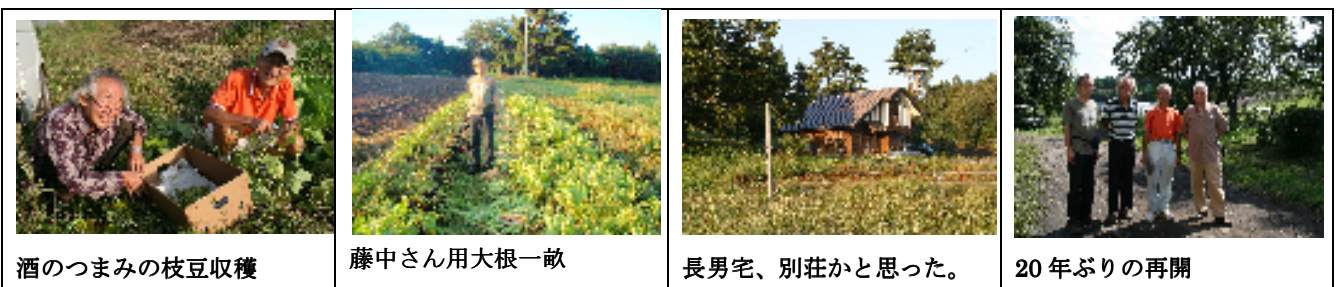
### (3) コース

#### 9月15日(木)

当初予定より若干遅れて、伊藤車にて神奈川を出発。首都高速を6時半頃すんなり抜け東北道に入った。福島に入ると所々修復工事中だったが、比較的順調に八戸手前の南郷ICでおり、五戸を過ぎ川田農場に着いた。やはり陸奥だね。遠かった。

敷地内にスキー場、又手つかずの自然林があり、さすがに2万坪は広い。敷地の一角に邸宅と、長男宅、又商売用のハウスが六棟？

女川に持っていく大根は、ここ2-3日川田さんが頑張って全て引き抜き、葉も落としてくれていた。酒のつまみの枝豆を収穫し、約20年ぶりの再開を祝した。



#### 9月16日(金)

朝一で大根・枝豆・人参、及び先に収穫して冷蔵庫に保管してあった小松菜・山東菜等、計12箱を車に積み込み。昨夜盛岡で用事があった熊谷さんを待って、12時前に女川に向け出発した。順調に高速道を走り、石巻へ。町中は殆ど片づいており、大震災の感じはあまりしない。もう半年たったものね！

女川町に入って一部地盤沈下で道路が冠水した所を通り、坂道を上り早速向学館の藤中さんを訪問。藤中館長の元気な顔を見てまずは一安心した。藤中さんの要望により、川田野菜をまずは向学館で働いている人達に配り、その後、運動公園に移動して駐車場の一角に

今夜の寝ぐらのテントを張った。

女川の町へ下る途中にはまだ津波の跡が残り、被災した家、土台だけの敷地が点在。町中はビルが所々倒れていて、町並みは家の土台のみ。なんと荒涼とした風景か！

配布野菜の数量確認等明朝の仕事にして、又アルコールのお世話になった。隣に飛騨高山から地震発生以来ボランティアに来ている和尚さんの大きなテントがあり、少しお話しした。伊藤さんの話したとかなり疲れた様子。確かに見知らぬ土地に入り込む難しさがわかる気がする。でも次は福島でボランティアとのことで頭が下がる。

## 9月17日（土）

朝一番で配布野菜を分類し、ボランティアセンターへ運んだ。ボランティアに来ていた千葉の市成さん・山形の岸さんの手伝いで、各戸毎にビニール袋に詰め、リアカーに積んで運動公園の仮設住宅154軒全てに野菜を配布。

1人住まいのお年寄りより1件受け取り辞退されたが、それ以外は大変感謝された。これも川田さんの頑張りのお陰と感謝、感謝！

でも年寄りの1人住まいはきついな！週2回程魚、野菜販売者が来るだけで、近くに買う場所はないし、足がない。冬に向けてどうするのだろうか？

午前中に野菜の配布が終わったので、午後はボランティアセンターに登録し、避難場所になっていた保育園の開園準備の為に遊具の錆落としボランティアを黙々と実施した。

ボランティアの難しさを感じながら、又アルコールの世話になり、健康的に21時には就寝。

## 9月18日（日）

藤中さんも日曜日は休みとのことで毎朝歩いている散策コースを一緒した。6時にはテントに来て、6時40分には出発。運動公園の裏から散策コースに入り、蜘蛛の巣を払いながら天望台へ。地図で見ると丁度女川の町の西側の尾根筋。天望台からは朝の女川の海が望め、のどかな風景。津波が襲い、多くの人が流されたことが何とも不思議な感じ。尾根筋の末端途中途中に観音像がある。三十三観音遊歩道とのこと。樹林帯の尾根の末端の展望台から女川の町、女川湾を望んだが、麓の町並みは皆無。上から見ると整地された住宅地のように見える。しかし近くに行くと家の土台が並んでいるだけの平坦地。一部コンクリートの建物が転げたり、廃屋のまま残っているが、4階迄水が来たというのは、ちょっと想像がつかない。坂の途中にあるお墓に電車が引っかかっていたと言うことも、想像外で実感がわかない。震災直後は酷かったのだろうか？（水面の高さは以前の伊藤さん分析資料参考）

尾根筋を下り、女川駅のあった場所近くの津波桜を見学。残念ながらわき芽は枯れてしまったとのこと。津波でかなりのダメージを受けたのだろうが、来春の芽吹きを期待する。のんびりと約2時間半の散策だったが、藤中さんは毎日の散歩コース。普段は1時間強で歩くのだろうか。毎日、家の近くの自然満載の良いコースだね。

娘さんが来るという藤中さんと別れ、昼迄のんびりお茶を飲んで、伊藤車で女川を離れ仙台に向かった。

	<p>尾根筋からは、今は無い女川の町並み、女川湾、男鹿半島の山並み、遠く二股島が見える。 又、男鹿半島の反対側には万石浦の静かなたたずまいが望める。なかなか良いコース。</p>
	<p>地図は Kashmir</p>



藤中さんの住む仮設住宅	朝の散歩出発前	3F 建の仮設建設中 (野球場)	天望台登りより女川湾を望む
-------------	---------	------------------	---------------



散策路の地割れ	散策尾根筋	末端の展望台より女川港	女川の町並み (の跡?)
---------	-------	-------------	--------------



展望台の藤中、伊藤さん	女川交番、倒れた	役場、4F 迄水没	清水地区の瓦礫置き場
-------------	----------	-----------	------------

途中石巻でおろしてもらい、1人、石巻の被害状況を見て回った。日和山公園から北上河口方面、松島方面を眺めたが、天気が良かったこともあり、震災の感じはしなかった。但し、海側に家並みがないのは女川と同じ。左岸の一角に瓦礫が山積みされているのが見えた。日和山を北上川側に下り、駅迄歩いたが、川岸の家はまだ津波の爪跡が残っていたが、商店街は半分以上商売を始めていた。商店街の所々に重機がおいてあり、津波の爪跡がそのままになっているのは何とも不思議な感じであった。早々に仙台に向かい、夜行バスで帰宅した。



石巻日和山より北上河口方面	石ノ森正太郎漫画館、手前協会跡	石巻日和山より海側平野	石巻駅南、北上河岸
---------------	-----------------	-------------	-----------



\*. 以下の写真は、伊藤さんの定点観測写真（女川福祉センターからのパノラマ）。瓦礫が随分撤去された様子がわかる。



#### (4) 感想

震災後半年過ぎたこともあり、町中は瓦礫が片づいており、復旧力を感じたが、子供のあどけなさに比し、年寄りの表情が少々気になった。特に1人住まいの年寄りはどうするのだろう。

藤中さんはNPOに依存しない向学館独自の拠点を作るべく張り切っており、息の長い支援が必要と感じた。又、初めて大震災の現地ボランティアを手伝ったが、ボランティアするということはなかなか大変なことですね！

結局は自分の独りよがりかもしれないし、達観しないと出来ないこと。確かに考えさせられることが多いが、あまり気張らないで、自分のペースで何か出来ることをするしかないだろう。そんなことを考えさせられた良い機会でした。

以上